

サクランボ

1 植え付け

栽培条件

水はけの悪い場所を嫌いますので、排水の良い土壤に植え付けましょう。また、霜の降りやすい場所は避けましょう。

植え付け時期

2月から3月がおすすめです。

品種の選定

さくらんぼを植える際は、受粉樹を混植する必要があります。

高砂×ナポレオン(受粉樹)
 佐藤錦×高砂(受粉樹)
 ナポレオン×高砂(受粉樹)
 紅秀峰×ナポレオンまたは高砂(受粉樹)
 詳しくは、店舗職員にお尋ねください。

一年の流れ

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	植え付け			開花・受粉		収穫					施肥
整枝・剪定											

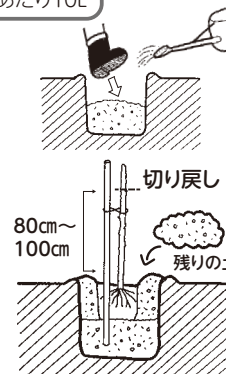
植え付け

- ①成木になったときを想定し、周囲5～7メートルに障害物が無い場所を選びましょう。
 穴の大きさは、直径50cm程度、深さ50cmの植え穴を用意します。
 掘り上げた土の半分程度とJAファーム有機堆肥をよく混ぜて埋め戻します。



・JAファームオリジナル有機堆肥20L:一穴あたり10L

- ②軽く踏み固めて沈降を防ぎます。
 植え付け前にたっぷり水をあげましょう。
- ③根鉢ごとポットからやさしく取り出し、そのまま植え穴に入れます。
 接木部が若干地表に出るように覆土します。
 支柱を立て誘引し、倒伏を防ぎます。
 樹高が高い場合は、80cm～100cm位で切り戻します。



乾燥対策

乾燥防止と雑草対策のためにワラを株元に敷きましょう。

2 施肥・防除

施肥

11月～12月ごろに元肥を与えます。降雪の多い地域は、11月と3月の2回、半分ずつ施肥しましょう。
 若木のうちは、特に肥料やけを起しやすいため、施肥量には注意しましょう。

・肥料:JAファーム果樹専用肥料
 ・量(1本あたり): 3年樹まで……………500g
 5年樹まで……………1kg
 10年樹まで……………5kg

病害虫

- 害虫
 オウトウシヨウジウバエ、オウトウミバエ、ハダニ類、コスカシバ、ウメシロカイガラムシ、アメリカシロヒトリ、ナシグンバイ、オウトウナメクジハバチ
- 病気
 ・灰星病(花腐れ、果実に褐色の斑点)
 ・褐色せん孔病(葉に紫褐色の斑点)
 ・胴枯病(樹脂の分泌、幹の暗褐色化)

○病害虫防除は予防が大切です。
 定期的に行いましょう。
 ○農薬は使用方法をよく確認し、正しく使いましょう。
 分からないことがあればなんでもご相談ください。

3 整枝・剪定

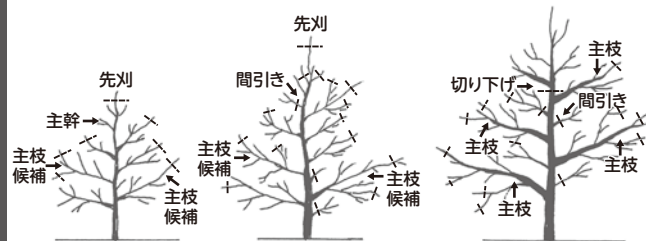
剪定の時期

剪定は、1月下旬から3月上旬にかけて行います。
 切口には「トップジンMペースト」など塗布剤をぬります。

2～3年目

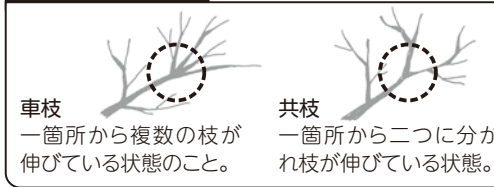
4～6年目

7年目以降



2～3年目は、主幹延長枝を1/3程度切り戻す。主枝候補の先刈をし、車枝や共枝にならないよう、枝を整理します。
 4～6年目は、主枝候補を少しずつ絞りながら間引いていきます。主枝候補と主幹の先刈も行います。主幹の先端から出る枝は1本に絞り、他の枝は切り落とします。
 7年目以降は、主枝をさらに整えていきながら、最終的に4～5本程度にします。主枝が決まり樹形が整ってきたら、主幹を最上段の主枝まで切り下げます。

剪定ワンポイント!



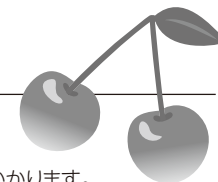
4 受粉

通常は昆虫が受粉を行ってくれますが、天候不順などによりミツバチなど訪花昆虫の活動が活発でない場合は、人工授粉を行うと結実数を確保できます。
 温暖な晴れの日に、受粉樹と対象品種の花を交互に毛ばたきで軽くなでます。咲き始めから満開の間に数回行いましょう。

5 収穫

収穫適期

収穫できるまでには、植え付けから4～5年程度かかります。
 収穫時期は、品種にもよりますが、6月中旬から7月上旬です。果実も大きく育ち、しっかり着色していれば収穫のタイミングです。鳥害防止のため、防鳥網をかけましょう。
 サクランボは、雨により裂果する場合があります。雨よけ施設を設置しましょう。
 雨よけ施設と防鳥網については店舗職員にご相談ください。



科名 バラ科
 原産地 東欧～西アジア

制作 JAファーム 専門部会
 (無断転載禁止)